

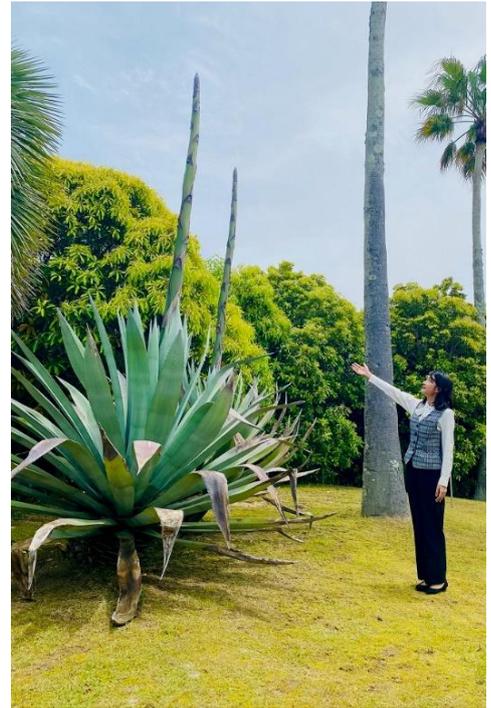
2024 年 5 月 24 日

株式会社志摩スペイン村

数十年に 1 度咲く花「リュウゼツラン」の茎が 11 年ぶりに伸び始めました！

志摩スペイン村のバスロータリーに植わっている「リュウゼツラン（竜舌蘭）」の茎が 11 年ぶりに伸び始めました。リュウゼツランは「センチュリープラント」とも呼ばれ、数十年に一度花を咲かせます。

志摩スペイン村に植わっているのは「アオノリュウゼツラン」という種類で、現在 7 株植わっているうちの 2 株が巨大なアスパラガスのような花茎を 4 メートルほど伸ばしています。さらに成長すると花を咲かせるということで、日々成長を見守っています。



志摩スペイン村のリュウゼツラン（5 月 24 日の様子）

アオノリュウゼツラン

リュウゼツラン科の大形植物で、原産地はメキシコの乾燥地帯。リュウゼツランは別名、センチュリープラントとも呼ばれており、100 年に 1 度開花するという意味があります。実際には、30～50 年で開花することが多いようで、長い年月をかけて開花し、咲き終わった後その株は枯れてしまいます。

伸びた花茎に下から順番に黄色い花を咲かせます。メキシコのお酒、テキーラの材料にも使われています。



※2013 年 7 月に開花したときの様子

以 上